

市立保育所全6箇所の民営化計画案は再考を



栗山香代子議員

昨年12月16日の

総選挙の結果、政権交

代となり安

倍政権が誕

生しました。

再度の首相

就任とあって、かなり強気の政

権運営を進めようとしています。

最近では環太平洋連携協定(TPP)

P)交渉に参加しようとするな

ど、日本をどうしたいのかと、

疑問を持たずにはいられません。

しかし、それ以前から、日本

の様々な分野で国民は不安を感じ

ています。

2012年8月10日、消費税

増税法を中心とする「社会保障

と税一体改革法」が成立しまし

た。それに合わせて「子ども・

子育て関連法」が成立しました。

国と自治体の保育に関する責任

を投げ捨て、保育を営利化・産

業化させる法案に対し、大きな

反対の声と運動がまきおこり、

一定の改善がなされたものの、

根本的な解決にはなっていない

せん。

また、「社会保障制度改革推

進法」も成立しましたが、その

附則の中で「生活保護の見直し」

が掲げられ「生活扶助、医療扶

助等の給付水準の適正化」が明

記されています。

生活扶助基準については、年

齢・世帯人員・地域差を考慮し、

H20年度の見直し以降の物価を

勘案したとして、25年度から27

年度まで3年程度をかけて段階

的に実施していくとしています。

生活扶助基準で220億円、医

療扶助と就労支援の強化等で4

50億円、計670億円の削減

を見込んでいます。安倍首相が

物価2%の上昇、さらに消費税

10%を狙う中で、基準引き下げ

が、どれほど受給者を不安にさ

せているかは想像に難くありま

せん。

また、生活扶助基準は国民の

最低生活保障としての役割を果

たしています。その見直しは、

他の制度にも大きな影響を及ぼ

します。

最低賃金、就学援助、保育所

の保育料、個人住民税の非課税
限度額、国民健康保険や国民年
金・介護保険の保険料、生活福
祉貸付金制度、最低保障年金、
福祉施設の措置費などがあり、
細かく説明していれば私の持ち
時間が無くなってしまうでしょ
う。

国の制度が変わっていく中で、
厚木市はどのように市民を守っ
ていくことができるのでしょうか。
保育所と生活保護について
お聞きます。

市立保育所民営化による子育
て環境への影響は。

市長 本市には、現在、認可保育
所が23箇所あり、このうち、公
立が6箇所、民間が17箇所となっ
ております。

公立・民間ともに、国が定め
る設置基準や保育所保育指針に
基づき保育が行われていること
から、民営化による大きな変化
は無いものと考えております。

今後におきましては、入所児
童や保護者に負担のかからない
よう十分に配慮し、民間事業者
への移管を進めてまいりたいと
考えております。

生活保護基準等の見直しによ
る影響をどのように認識して
いるか。また、対応は。

市長 現在、国や県からの情報提
供がないため、詳細を申し上げ
ることはできませんが、制度等
の改正が行われることにつきま
しては、新聞報道等を通じて、
承知しているところでござい
ます。

また、制度の運用にあ
たりましては、生活に困
窮する方々への最低限度
の生活の
保障と自
立の支援
につながる
よう努
めてまい
ります。



2月議会今後の予定

3月11日(月)	環境教育常任委員会
12日(火)	都市経済常任委員会
13日(水)	常任委員会予備日
15日(金)	議会運営委
21日(木)	議会運営委・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。

3月の法律相談は
3月14日(木) 14時～
事前の連絡をお願いします。

防災対策の充実について

栗山議員 防災についての市の姿
勢を示すためにできる施策を望
むものです。

一時(いつとき)避難場所の
現状と課題は。

市長 一時避難場所は、災害時に
おいて、自らの安全を確保する
とともに、指定避難場所や広域
避難場所へ避難する前に、家屋
の倒壊、火災の状況など周囲の
様子を確認し、次の行動への判
断を行う場所であり、自宅近く
の公園や広場などを家族や隣近
所、自主防災対があらかじめ決
めておく場所です。

なお、防災訓練等を通じ、一
時避難場所としての役割を広く
市民の皆様周知することが必
要であると考えております。

マンションの耐震診断・改修
助成を行ってはどうか。

市長 平成24年1月1日現在、マ
ンションを含めた非木造の共同
住宅の耐震化率は、木造戸建て
住宅と比べて、高いものと認識
しております。

こうした状況を踏まえ、現在、
木造戸建て住宅を対象とした改
修費用助成を行っておりますが、
「地震は起きるもの」と捉え、
マンションの耐震診断補助制度
について、調査研究してまいり
たいと考えております。